

みなさま、

1 月末のポジション報告をお送りします。

2019 年 12 月末と、2020 年 1 月末のポジションは以下の通りです。

2019年12月末時点

	購入価格	購入比率	時価	対購入価格	保有比率	今月の売買
2427 アウトソーシング	1,066	16.7%	1,158	9%	14.4%	買い
3038 神戸物産	1,116	4.5%	3,750	236%	11.9%	なし
4659 エイジス	3,252	13.0%	3,205	-1%	10.2%	なし
6086 シンメンテ	1,446	13.2%	2,474	71%	17.9%	なし
9058 トランコム	6,023	13.2%	8,270	37%	14.3%	なし
現預金		39.5%			31.3%	

2020年1月末時点

	購入価格	購入比率	時価	対購入価格	保有比率	今月の売買
2427 アウトソーシング	1,039	13.0%	1,009	-3%	10.0%	一部売却
3038 神戸物産	1,116	4.4%	4,200	276%	13.1%	なし
4659 エイジス	3,252	12.8%	3,065	-6%	9.6%	なし
6086 シンメンテ	1,446	12.9%	2,689	86%	19.1%	なし
9058 トランコム	6,023	12.9%	7,800	30%	13.3%	なし
外国株式（複数銘柄）		2.0%			1.6%	
現預金		42.1%			33.4%	

今月は、アウトソーシング（2427）を一部売却しました。2019 年 12 月末の報告で、アウトソーシングの成長性に期待して購入比率を高くしていると書きましたが、株価下落基調の中、一銘柄 13%という自分の基準を超えていることに違和感を感じ、一部売却しました。

投資を長く続けるために、自分なりのルールを持つことが重要だと思います。例えば、1 銘柄に資金の 10%を投資する、株価が 2 倍になったら半分を売却して投資元本を回収して残りの株式はタダで買ったと考えると保有し続ける、空売りはしない、などなど。とにかく選択肢が多いので、効率よく選択肢を絞るための基準がないと時間がいくらあっても足りません。また、投資家 1 人 1 人の考え方、経済状況、リスク耐性が違うので、自分に合ったルールを見つけていくことが大切です。自分にピッタリのルールはすぐには見つかりませんが、まずは色々な投資家の考えに触れて、共感できた人の真似から始めるのが良いと思います。投資ルールを書き出して、まずは 1 年実践してみて、適宜変更していくことをお勧めします。私も基本ルールはありますが、常に改善しようとしています。例えば、今回のアウトソーシングの件で、仮に成長性が高いと思っていても、投資ルール以上に購入比率を高めると精神的に苦しいことが分かりました。その経験を今後

現在、12 月末決算の発表が続いています。是非、決算短信や決算説明資料を読んでみてください。まずは、最初のページと、経営成績に関する説明の部分だけで十分だと思います。業績が良かった場合、その理由と、好調はいつまで続きそうか？逆に、業績が悪かった場合、その理由と、不調いつまで続きそうか？と自問自答すると良いと思います。1 月に決算発表があった保有銘柄は、以下の 2 社です。

シンメンテ（1 月 14 日発表）<http://www.shin-pro.com/ir/irnews.html>

エイジス（1 月 31 日発表）<https://www.ajis.jp/ir/>